

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		秘書事務管理費			担当所属	秘書課		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～ 永年			
	基本施策	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		会計種別				
	推進施策	1 計画的な施策の推進		実施計画	総合戦略			
事業概要	対象	市長、副市長						
	意図	市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ることで、間接的に市民福祉の向上に寄与する。						
	成果							
	手段	市長、副市長に関する秘書業務						
指標	活動指標	指標名		単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込
		指標なし		目標値				
				実績値				
				目標達成度	%	-	-	-
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	
	トータルコスト		51,552	48,448	48,602	39,056	49,299	
	事業費		8,081	5,118	5,036	3,281	6,369	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		8,081	5,118	5,036	3,281	6,369	
	人件費合計		43,471	43,330	43,566	35,775	42,930	
正職員		43,471	43,330	43,566	35,775	42,930		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	5.90	5.90	6.00	5.00	6.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
周辺環境	開始時の周辺環境							
	現状の周辺環境 令和元年5月25日より現市長就任							
	今後の予想される周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		A	市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ることで、市民福祉の向上に寄与する。			
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A				
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		A				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	情報共有を図り、効率的なスケジュール管理に努める。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A		市長、副市長の日程を適正に管理すること等により、円滑に職務に専念できる環境を整えることが必要である。					
改革案	今後の実施方向性	維持		適切な秘書業務の実施により、円滑な公務の遂行に努める。				
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)		適切な秘書業務の実施により、市長・副市長の業務遂行を効率化し、政策決定の迅速化を図ることができる。					